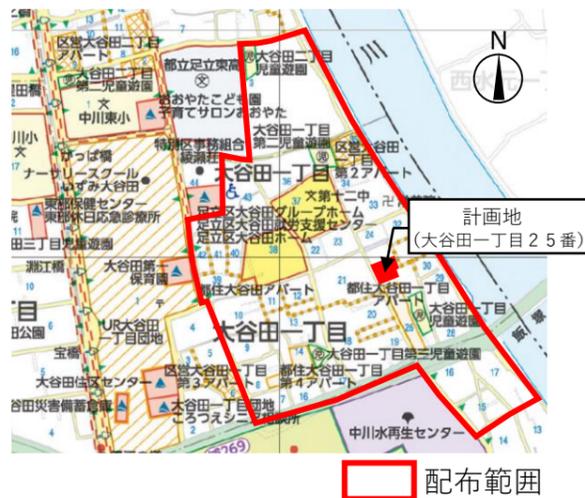
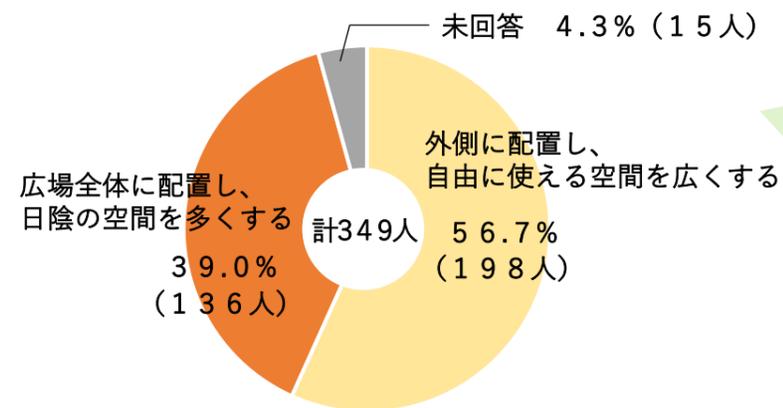


1. アンケート調査概要



対象：計画地から半径250m程度の近隣地域
 配布方法：ポスティング
 配布部数：1,427部
 回答方法：WEB回答、郵送回答、FAX、手渡し
 回収率：24.5%

(3) 広場の中の樹木(木陰)は、どのような配置が良いと思いますか？

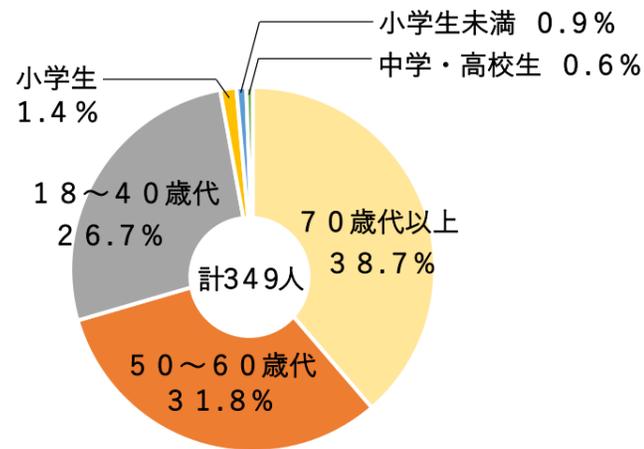


全体としては「外側に配置」が「広場全体に配置」を上回っているものの、「広場全体に配置」も相当数選ばれていました。

2. アンケート集計結果 (抜粋)

(1) 回答者の年代

第1位	70歳代以上	135人 (38.7%)
第2位	50～60歳代	111人 (31.8%)
第3位	18～40歳代	93人 (26.7%)
第4位	小学生	5人 (1.4%)
第5位	小学生未満	3人 (0.9%)
第6位	中学・高校生	2人 (0.6%)
合計		349人



「広場全体に配置し、日陰の空間を多くする」を選んだ理由 (抜粋)

- ・木陰で憩いたい、夏場でも滞在しやすい広場が良い
- ・緑や四季の変化を楽しみたい
- ・団地の公園との差別化
- ・狭い公園なので、子供がボール遊び等すると危ない 等



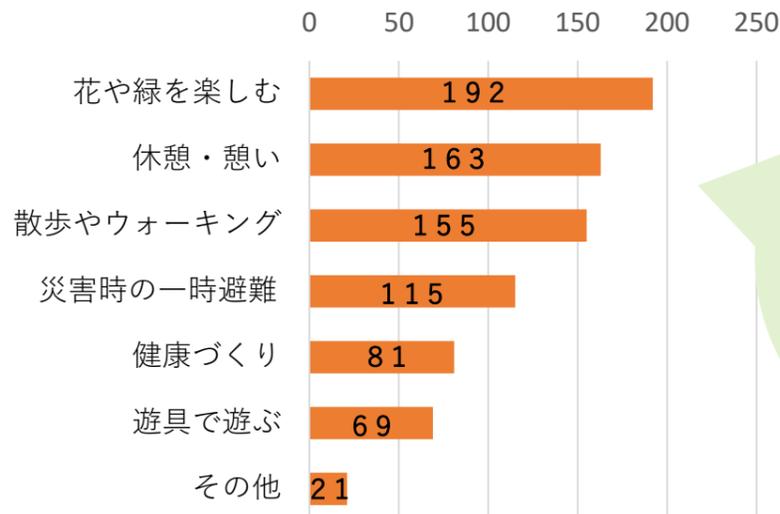
「外側に配置し、自由に使える空間を広くする」を選んだ理由 (抜粋)

- ・防犯・見通しの良さ
- ・多目的利用 (子供の遊びの自由、ラジオ体操等)
- ・災害時の利用
- ・清掃、維持管理がしやすい 等



(2) (仮称)大谷田一丁目公園の広場は、どのように利用したいですか？

※3つまで回答



「花や緑を楽しむ」が最も多く、回答者の半数以上が選択しました。上位4位まで、回答者の4割以上が要望をあげています。また、「健康づくり」と「遊具で遊ぶ」はどちらも一定の需要があることがわかりました。

(4) その他要望 (自由意見から一部抜粋)

- ・防犯対策
- ・災害時に集合する場所として使いたい
- ・幼児が遊ぶ遊具、健康器具を多く設置してほしい
- ・ありきたりな公園ではないようにしてほしい
- ・樹木の種類、配置の検討 等

特に、防犯対策をしっかりと行い、安心して使える公園にしてほしいという内容の意見を多数いただきました。

アンケート結果をもとに、整備内容を検討しました。

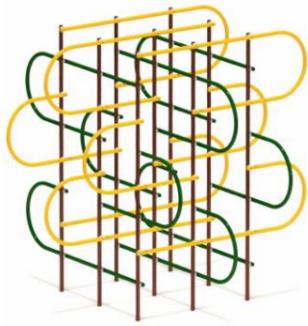
テーマ みどりの中で憩う公園

整備方針

- ① 広場には高木を、広場の周りには低木や中木を植栽し、**花や緑を楽しめる**ようにします。
- ② 花や緑を楽しみながら**散歩や休憩**ができるよう、園路や休憩施設を整備します。
- ③ **災害時**、一時的に集合ができるよう、**停電時**でも一定時間点灯する公園灯を設置します。
- ④ 小さな子供、大人が安らぎながら体を動かせる**幼児用遊具**、**健康遊具**を設置します。
- ⑤ 園内は適切な照度を保つ・死角を作らないなど、**防犯対策**をします。
- ⑥ **広場の樹木**は、安全と居心地の良さを両立させた配置とします。

幼児用遊具のイメージ

※対象年齢：3～6歳



登る遊具



揺れる遊具

小さな子供が体を思い切り使いつつも、穏やかに遊ぶことができる遊具を設置予定です。

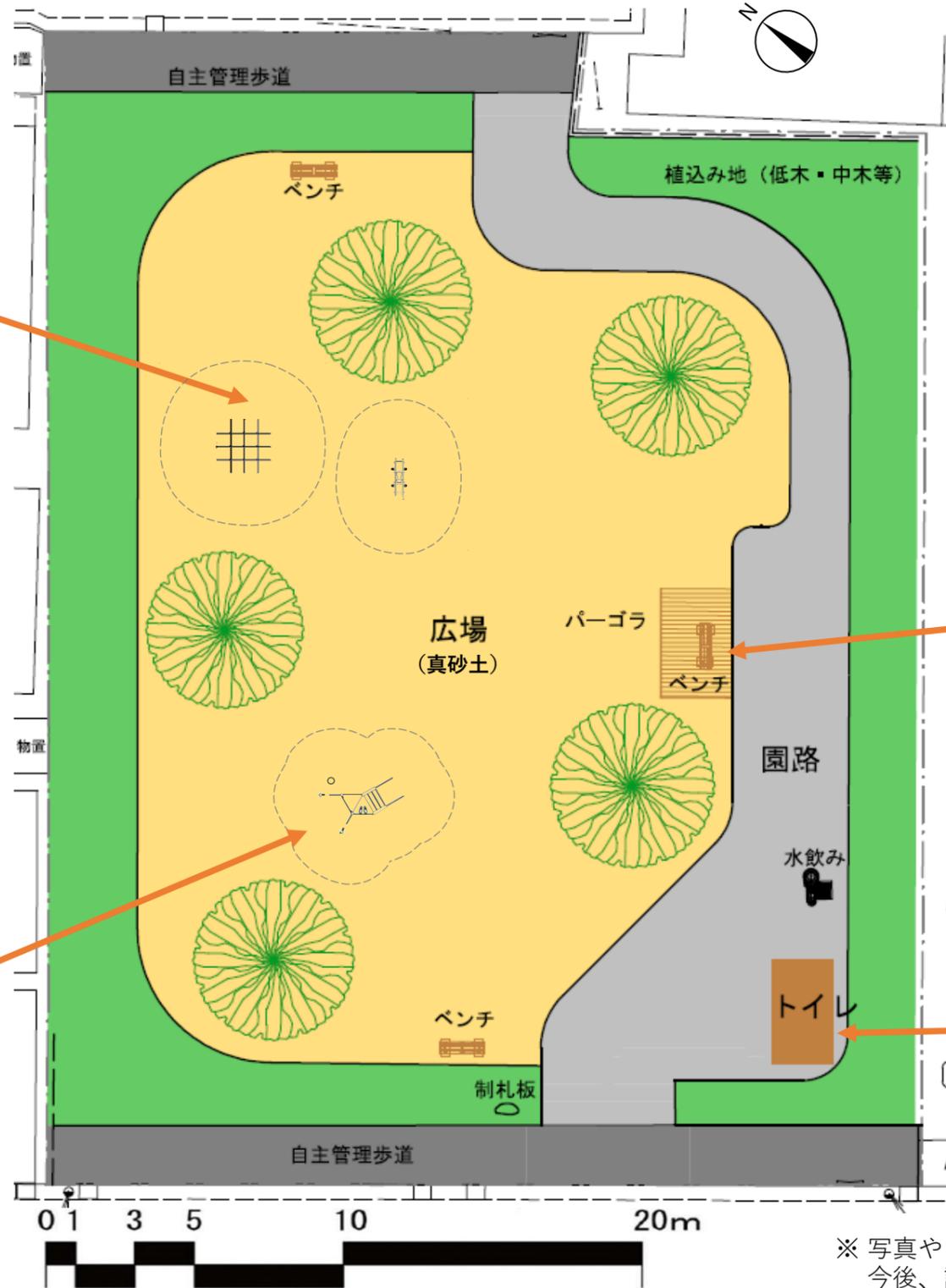
健康器具のイメージ

複合の健康器具



- ・身長計、垂直飛び
- ・前屈
- ・平行棒、斜め棒
- ・はしご昇降
- ・腰ひねり
- ・ぶらさがり
- ・数字にタッチ
- ・のぼりおり

いくつもの要素を複合的に取り入れることで、様々な体の部位を刺激することができる健康器具を設置予定です。



広場の樹木の配置

樹木（高木）を外側に配置し、見通しやある程度の空間を確保しながら、樹木が成長した際には木陰で憩うことができるような配置とする予定です。

パーゴラのイメージ



日陰で休息できるパーゴラやベンチを設置予定です。公園全体のデザインに調和するものをセレクトします。

トイレのイメージ



・バリアフリートイレ
・男子トイレ
を設置予定です。

災害対応公園灯イメージ



停電時でも一定時間点灯する公園灯

※ 写真やイラストはイメージです。今後、説明会でのご意見を踏まえながら、詳細な設計を進めます。